

授業概要

この講座では、幼稚園教諭・保育士として知っていてももらいたい「子どもの運動あそび」についての知識を学習する。具体的には、鬼ごっこなどの道具を使わないゲームや縄跳び、ボールを使ったゲームなどを行い、子どもに必要とされる運動あそびを多く提示できる力を培うとともに、実際の模擬保育を行うことで、実践力を養うための指導を行う。

授業計画

第1回	オリエンテーション ～レポートの書き方について～
第2回	鬼あそび①（手つなぎ鬼を中心とした鬼あそび）
第3回	鬼あそび②（しゃがみ鬼を中心とした鬼あそび）
第4回	鬼あそび③（しっぽ取りを中心とした鬼あそび）
第5回	なわあそび①（伝承あそび）
第6回	なわあそび②（縄を使ったゲーム）
第7回	ネーチャーゲーム（特別講師）
第8回	ボールあそび①（円形ドッジボール）
第9回	ボールあそび②（様々なドッジボール）
第10回	ボールあそび③（ラインサッカー）
第11回	ボールあそび④（様々なサッカー）
第12回	鬼あそび④（変わったルールの鬼あそび）
第13回	鬼あそび⑤（変わったルールの鬼あそび）
第14回	模擬保育① ～調べた遊びを指導してみる～
第15回	模擬保育② ～子どもの気持ちになって指導を受ける～

到達目標

- 子どもの運動あそびについて学び、学習した内容を文字に置き換えて記録することができるようになる。
- 簡単なあそびを指導することにより、指導方法の基本を身につける。

履修上の注意

- 特別講師による授業を実施する予定だが、変更になる場合があるので注意すること。
- 保育士資格に関わる科目なので、出欠を厳しくチェックする。
- 必ずジャージなどの体操服に着替え、体育館シューズを用意すること。
- 髪の毛の長い者は、まとめること。
- レポート提出が復習に該当する。次週の授業前日までに必ず提出すること。遅れた場合は、減点対象となる。なお、提出しなかった場合は、欠席と同様の扱いをするので注意すること。
- やむを得ない場合、20分以内の遅刻を認める場合がある。それ以降は、欠席として取り扱う。
- 遅刻3回で欠席1回と同様の扱いをする。

予習・復習

- 予習…シラバスを確認し、授業内容についてのイメージを持つ。
- 復習…毎回、課されているレポートを書き、ゲームの内容を頭の中で整理する。

評価方法

• 授業内課題への取り組み、授業態度等の平常点50%。実技課題30%。レポート20%。

テキスト

特に指定しない。